

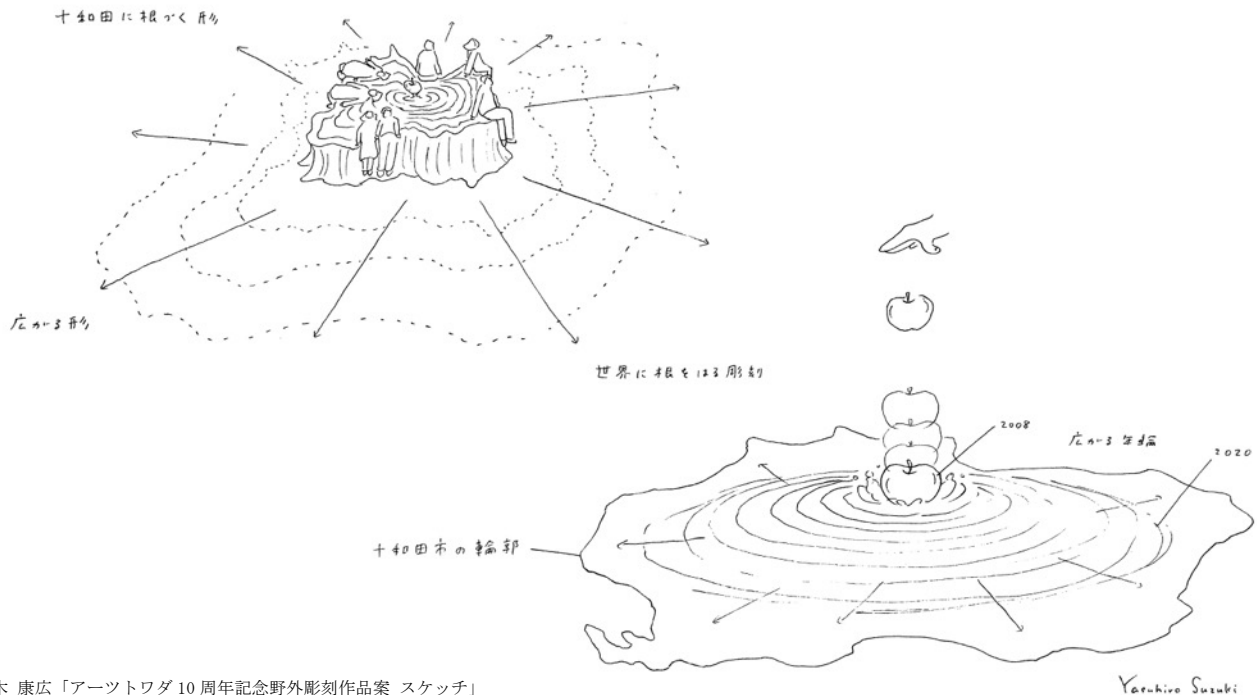
## 【 開催告知 】

**アーツトワダ10周年記念！**

一年を3期に分け、国内外の気鋭作家たちが作品を企画・展示

## アーツトワダ10周年記念展「インター + プレイ」

2020年4月18日(土) - 2021年5月30日(日) 十和田市現代美術館



鈴木 康広「アーツトワダ10周年記念野外彫刻作品案 スケッチ」

2020年、十和田市のシンボルロードである官庁街通りをひとつまると「美術館」に見立てた、全国でも珍しい取り組み“アーツトワダ”が、完成から10周年を迎えます。十和田市現代美術館は、そのアーツトワダの中核施設として、アートが持つ驚きの体験と最先端のアートを発信、まちとの交流を通して創造性の相互作用を促進しています。

アーツトワダは、時代の先端的表現と多様な人々を受け入れる包容力の両方を併せ持つものを追い求めてきました。

10周年記念展となる本展は、そのようなアーツトワダの姿勢を体現するものとして、一年を通し3期に分けて内容を変えつつ行われます。私たちの身体、建築、街と社会の内側と外側に橋を架け、その間を繊細・自由に往還し、私たちの生きる空間に新しい可能性を開く作家・作品で一年間の展覧会を構成します。

## ■ 出展作家

鈴木 康広、目【Me】、津田 道子、evala、松原 慈、水尻 自子、青木 千絵、問題行動トリオ（野村誠+佐久間新+砂連尾理）… 他、著名な海外作家も出展予定

※会期中、3期に分けて出展作家が変更となります

第1期 会 期：2020年4月18日(土) - 2020年8月30日(日)

第2期 会 期：2020年9月19日(土) - 2021年1月11日(月)

第3期 会 期：2021年1月23日(土) - 2021年5月30日(日)

**展示内容などの詳細は、2020年1月中に本リリースのご案内を予定しております**

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

## ■ 出展作家プロフィール &amp; 参考作品

## 鈴木 康広 (すずき・やすひろ)



撮影：中川 正子

アーティスト。1979年静岡県生まれ。身近なものに新鮮な切り口を与える作品によって、ものの見方や世界のとらえ方を問いかける活動を続けている。2014年に水戸芸術館、2017年、箱根彫刻の森美術館にて個展を開催。瀬戸内国際芸術祭2010に出展した《ファスナーの船》は、2018年には隅田川を航行し話題に。2011年、第4回モスクワビエンナーレ出展。第1回 ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016 日本代表。2014 毎日デザイン賞受賞。武蔵野美術大学准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員。



鈴木 康広《空気の人》2007/2017年 ※参考作品

## 目【Me】



photo：Takahiro Tsushima

2013年活動を始める。アーティスト 荒神明香、ディレクター 南川憲二、インストーラー 増井宏文を中心とする現代アートチーム。個々の技術や適性を活かすチーム・クリエイションのもと、特定の手法やジャンルにこだわらず展示空間や観客を含めた状況／導線を重視し、果てしなく不確かな現実世界を私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。主な作品に「たよりない現実、この世界の在りか」／2014年／資生堂ギャラリー／東京、

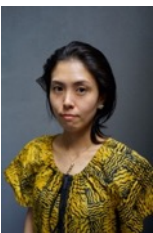
「Elemental detection」／2016年／さいたまトリエンナーレなどがある。



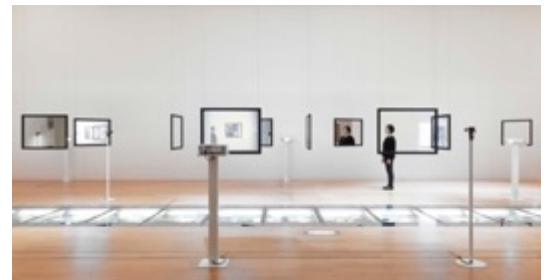
目【Me】《景体》2019年「六本木クロッシング2019」展（森美術館、東京）

photo：Takahiro Tsushima ※参考作品

## 津田 道子 (つだ・みちこ)



美術家。1980年神奈川県生まれ。東京芸術大学大学院映像研究科で博士号を取得。映像の特性にもとづいたインスタレーションを制作。近年は、神村恵とのユニット「乳歯」としてパフォーマンスも行う。主な展覧会に「あいちトリエンナーレ 2019」「六本木クロッシング 2019 展：つないでみる」（森美術館、東京）個展に「The Day After Yesterday」（TARO NASU、東京、2015）などがある。2019年にACCのグランティとしてニューヨークに滞在。



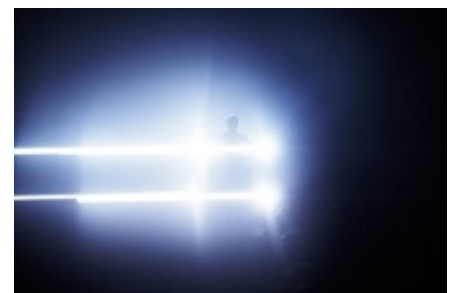
津田 道子「オープン・スペース 2016 メディア・コンシャス」展 展示風景（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]、東京、2016年） 撮影：山本 糾 ※参考作品

## evala



おいても多彩なサウンドプロデュースを手掛けている。http://evala.jphttp://seebyyourears.jp

音楽家、サウンドアーティスト。1976年、京都生まれ。立体音響システムを新たな楽器として駆使し、2016年より新たな聴覚体験を創出するプロジェクト「See by Your Ears」を始動。音が生き物のように躍動的にふるまう現象を構築し、新たな音楽手法としての“空間的作曲”を提示する。代表作に「大きな耳を持ったキツネ」（Sonar+D, Barcelona 2017）、「Our Muse」（ACC, Gwangju Korea 2018）、SONY Sonic Surf VRを用いた576ch音響インスタレーション「Acoustic Vessel Odyssey」（SXSW, Austin 2018）を展開する。また舞台、映画、公共空間に



evala《Sea, Sea, She -まだ見ぬ君へ- Live Ver.》2019年 撮影：黒羽 政士 ※参考作品

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

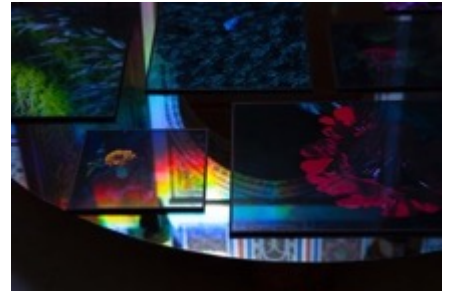
Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

## 松原 慈 (まつばら・めぐみ)



© Matteo Lonardi

1977年東京生まれ。イメージ、テキスト、光の現象などさまざまな表現で編まれた空間を作り、存在／不在の絶妙なバランスを模索する。主な個展に「The Blind Dream」(Douiria Mouassine Museum、マラケシュ、モロッコ、2014)、「A proposal for a textbook to learn Braille, English, and other languages」(Fonderia Artistica Battaglia Milano、イタリア、2015)、近年の展覧会に「第21回 DOMANI・明日展」(国立新美術館、2019)、「Poétique du geste」(La Graineterie - ウィユ市現代美術センター、フランス、2018)、「あいちトリエンナーレ」(愛知県美術館、2016)、「Marrakech Biennale 6」(エル・バディ宮殿、モロッコ、2016)がある。また、2002年より有山宙と共同主宰している建築スタジオ ASSISTANT では建築作品を手がけ、代表作に《33年目の家》(奈良、2013)、「コロガルパビリオン」(YCAM、山口、2013)、「IT IS A GARDEN」(長野、2016)。



松原 慈《Jnan Sbil / Freedom Garden》2014年  
「The Blind Dream」展 (Douiria Mouassine Museum、モロッコ) ※参考作品

## 水尻 自子 (みずしり・よりこ)



映像作家。1984年青森県生まれ。体の一部や身近な物体をモチーフにした感触的なアニメーションを制作する。文化庁メディア芸術祭アニメーション部門 新人賞、ベルリン国際映画祭 短編コンペティション正式出品など、国内外の映画祭で上映・受賞多数。



水尻 自子 ©Yoriko Mizushiri ※参考作品

## 青木 千絵 (あおき・ちえ)



漆彫刻家。1981年岐阜県生まれ。金沢美術工芸大学大学院博士課程修了。現在、同大学助教。漆の持つ深い艶から創造を掻き立てられ、人間の存在をテーマに作品制作を始める。人体と抽象形態が融合した独特のフォルムを追及している。主な展覧会に「ヒトのカタチ、彫刻」(2014、静岡市美術館)、「Hard Bodies: Contemporary Japanese Lacquer Sculpture」(2017、ミネアポリス美術館/アメリカ)ほか国内外の展覧会に多数参加。2019金沢・世界工芸コンペティション優秀賞受賞。



青木 千絵《BODY18-3》2018年  
撮影：池田 ひらく ※参考作品

## 問題行動トリオ (野村誠+佐久間新+砂連尾理)

2018年、香港の大型福祉施設に野村誠が3ヶ月レジデンスしているところ訪問した旧知のダンサー二人と結成した。2019年、「ノムラとジャレオとサクマの問題行動ショー ヨソモノになるための練習曲」(豊中市立文化芸術センター)を開催。

## 野村 誠 (のむら・まこと)



作曲/ピアニスト 1968年名古屋市生まれ。個展「Organic Vegetable」(アートスペース虹:京都)、グループ展に、「肌理と気配」(ACAC:青森)、「Archway Sound Symposium」(Five Years Gallery:ロンドン)、「野村誠の音楽室」(広島市現代美術館:広島)、「Notations 21」(Jeanie Tengelsen Gallery 他:アメリカ)など。現在、日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。



問題行動トリオ《TOYONAKA ART TRIBE #2  
ノムラとジャレオとサクマの「問題行動ショー」ヨソモノ  
になるための練習曲》(豊中市立文化芸術センター、大阪、  
2019年) ※参考作品

## 佐久間 新 (さくま・しん)



ジャズ舞踊家 1968年大阪市生まれ。コラボ・即興・コミュニケーションに関わるプロジェクトを推進。からだに問いかけることとそこから生まれる言葉で話す「からだトーク」(大阪大学)、障がいのある人と新しいダンスを創る「ひるのダンス」(たんぼぼの家・奈良)等。共著に「ソーシャル・アート障害のある人とアートで社会を変える」(文芸出版)。

photo: 草本利枝

## 砂連尾 理 (じやれお・おさむ)



振付家/ダンサー 1965年大阪市生まれ。1991年寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を中心に、障がい者や高齢者、避難所生活者などとのプロジェクトも手がけ、アートと社会を繋ぐ活動を展開している。著書に「老人ホームで生まれたくつつつダンス>-ダンスのような、介護のような-」(晶文社)。立教大学映像身体学科特任教授。

photo: 三浦博之

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報: 大谷 (おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

## ■ 開催概要

- 展覧会名： アーツトワダ 10周年記念展「インター + プレイ」  
会 期： 2020年4月18日（土） - 2021年5月30日（日）  
開館時間： 9:00 - 17:00（入場は閉館の30分前まで）  
休 館 日： 月曜日（祝日の場合はその翌日）  
会 場： 十和田市現代美術館  
観 覧 料： 企画展＋常設展セット券 1200円。企画展の個別料金は一般 800円。  
団体（20名以上）100円引き。高校生以下無料。  
主 催： 十和田市現代美術館  
後 援： 東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会



### 十和田市現代美術館

2008年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティスト33組の作品38点を常設展示。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、こどもからおとなまで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができる。

所在地：青森県十和田市西二番町10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com